

I 9月補正予算案の主な施策

1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 医療提供体制の整備

- 入院患者受入れのための空床・休床確保、患者受入協力金、PCR検査体制、搬送体制などについては、7月以降の感染者数の急増等を踏まえて再積算した上で、年度末までの所要額を計上します。
- 軽症者等のための宿泊施設について、感染者数の増加を踏まえ、新たに500室を加えて常時1500室程度を確保するとともに、高リスク療養者への対応を強化するため、配置する看護師や酸素吸入器を増やします。
- 自宅療養者の増加に伴い、健康管理や病状悪化の際の対応を強化するため、新たに自宅療養者フォローアップセンターを設置するとともに、パルスオキシメーターの全員配付や酸素吸入器の確保を行います。
- 訪問看護や夜間外来の輪番を行う医療機関等に対して新たに協力金を支給し、自宅療養者等の診療体制の強化を図ります。
- ワクチン接種を促進するため、個別接種を多く実施する医療機関に交付する支援金について対象期間を延長するとともに、副反応等の相談を24時間受け付ける相談窓口を引き続き設置します。

<主な事業>

・感染症患者受入れのための空床確保等事業	32,640,000千円(14頁)
・患者受入協力金	3,800,000千円(14頁)
・夜間・休日における患者受入体制の整備	516,000千円(14頁)
・検査体制の確保	1,755,000千円(16頁)
・搬送体制の確保	711,000千円(16頁)
・軽症者等のための宿泊施設確保事業	4,532,000千円(15頁)
・自宅療養者支援事業	1,265,000千円(15頁)
・自宅療養者等の診療体制の強化	963,000千円(15頁)
・ワクチン個別接種促進支援事業	10,500,000千円(17頁)
・ワクチン接種体制の確保	100,000千円(17頁)

(2) 中小企業支援・観光振興

- ポストコロナも見据えて、新分野への参入や生産性向上などに計画的に取り組む県内中小企業に対し、専門家を派遣して、計画立案への助言や、企業に最適な補助制度の活用を促すなど、取組の実現に向けた伴走型の支援を行います。

- 感染症の拡大により落ち込んだ県内観光需要の回復を図るため、感染状況やワクチン接種の進捗状況を見極めた上で、国の観光需要喚起策と連携した**県内観光利用促進キャンペーン**を行います。

<主な事業>

- ・ 中小企業コロナ対策 事業再構築等支援事業【新規】 90,000千円（18頁）
- ・ 県内観光利用促進キャンペーン事業 1,100,000千円（18頁）

2 緊急的な交通安全対策

- **飲酒運転の根絶**に向けて、トラック等の運行機会が多い事業所を対象とした**集中啓発活動**を行います。
- 通学路の緊急点検を踏まえ、**ガードレールの設置や信号機のLED化などの安全対策**を実施します。
- **通学路の安全対策**については、国による追加対策が取りまとめ次第、**更なる補正予算の編成**を検討してまいります。

<主な事業>

- ・ 飲酒運転根絶に向けた啓発事業 30,000千円（19頁）
- ・ 交通安全施設整備事業 650,000千円（19頁）

3 その他の事業

<CO₂削減>

- **道路や港湾施設、都市公園の屋外照明灯**について、維持管理費を抑制しつつ、二酸化炭素排出量を削減するため、リース方式により一括して**LED化を進めます**。
- 家庭における二酸化炭素排出量の削減を推進するため、予算を増額して、**住宅用太陽光発電設備の導入促進**を図ります。

<主な事業>

- ・ 道路照明灯など屋外灯のLED化導入事業【新規】
債務負担行為 4,100,000千円（20頁）
- ・ 住宅用省エネルギー設備等導入促進事業 45,000千円（20頁）

<子育て・教育施策>

- 児童相談所と警察が緊密に連携し、児童虐待事案等に迅速かつ的確に対応するため、警察本部と県内全ての警察署が新しい児童相談所支援システムを活用して情報共有ができる体制を構築します。
- 市町村立小中学校等でのICTを活用した教育を推進するため、学校を訪問して支援するGIGAスクールサポーターを教育事務所等に新たに配置します。

<主な事業>

- ・児童相談所と警察の情報連携【新規】 11,000千円 (21頁)
- ・GIGAスクールサポーター配置事業【新規】 30,000千円 (21頁)

<産業振興・基盤整備>

- 産業用地の確保に向けた課題や今後のあり方を整理するため、基礎調査を実施します。
- ワークーションの受入れを促進するため、企業ニーズや県内の対応状況を調査するとともに、地域の取組を支援します。
- 飼料用米などへの転換を図る生産者に対する県独自の上乘せ助成について、令和3年度の飼料用米等の作付面積が当初の見込みを大幅に上回ったことから、助成に必要な予算を増額します。
- 県産農林水産物の輸出促進を図るため、輸出先のニーズに対応した食品加工施設の整備や畜産物輸出のための市場調査等を支援します。
- 道路ネットワークの整備について、国の交付金の内示増などを踏まえ、前倒しで工事等を実施するとともに、被災した道路や河川等の公共土木施設を復旧します。

<主な事業>

- ・産業用地確保に係る基礎調査事業【新規】 債務負担行為 12,000千円 (22頁)
- ・ちばワークーション受入促進事業【新規】 40,000千円 (22頁)
- ・飼料用米等拡大支援事業 235,370千円 (23頁)
- ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業 225,403千円 (23頁)
- ・県産畜産物輸出連携促進事業【新規】 9,950千円 (23頁)
- ・道路ネットワーク事業 2,458,542千円 (24頁)
(債務負担行為 1,300,000千円)
- ・公共土木施設災害復旧事業 1,045,000千円 (25頁)

<文化・スポーツ振興>

- 東京2020大会にちなんだ「ちば」の優れた文化芸術活動や伝統文化等を発信するため、聖火リレーのセレブレーション等に出演予定だった団体等によるコンサートや伝統芸能の舞台公演などを開催します。
- 令和4年度に6回目の「ちばアクアラインマラソン」を開催することとし、大会の準備を進めるとともに、大会や千葉の魅力を発信するためのプロモーション活動を行います。

<主な事業>

- ・「ちば」の文化芸術発信事業【新規】 20,000千円 (26頁)
- ・ちばアクアラインマラソン開催事業 56,000千円 (26頁)
(債務負担行為 130,000千円)
- ・ちばアクアラインマラソンを活用した千葉の魅力発信推進事業 7,400千円 (26頁)
(債務負担行為 16,000千円)

<その他>

- 病院事業会計は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより資金不足が見込まれていたため、当初予算では給与費や材料費等の一部を計上留保していましたが、このたび経営改善に向けた次期改革プランの案がまとまったことから、年間所要額を計上します。

<主な事業>

- ・病院事業会計負担金 2,761,501千円 (27頁)